

# MUSEUM NEWS

2022.10 ▶ 2022.11

## 桃源郷通行許可証

とき・10/22(土)～1/29(日)

※ 会期中一部作品の展示替えがあります。  
前期:12/4(日)まで/後期:12/6(火)から

ところ・2階展示室

内容・絵画、写真、ドローイング、インスタレーションなど、それぞれの手法を用いて、日常や現実のはざまに潜在する事象を繊細に掬い取る6名の作家の作品と、当館のコレクションとが会うことで生まれる空間を中心に、多様な時代、ジャンルの作品とコレクションとの遭遇を通じて、時空を超えた芸術作品の魅力を探ります。作家や作品同士の対比、テーマによる対照、意外な組み合わせなど、様々な角度から構成される本展覧会は、コレクションに新たな光を当てるとともに、幅広い世代の作家たちの現在地にも立ち会う機会となるでしょう。

観覧料・一般1200円(960円)、大高生960円(770円)

※ ( )内は20名以上の団体料金  
※ 中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料  
※ 併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

### 《関連イベント》

#### ○ミュージアム・カレッジ2022

「トランジット—新たな数居学の提案」

埼玉大学教養学部と共催で開催する公開講座です。

①とき・11/19(土)15:00～16:30(開場は14:30)

内容・現代作家×コレクション—企画展「桃源郷通行許可証」について  
講師・鳴原悠(当館学芸員)

②とき・12/3(土)15:00～16:30(開場は14:30)

内容・歌舞伎と女一初代中村仲蔵の母おしゅんの業績  
講師・トーヴェ・ビュルク(埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授)

③とき・12/10(土)15:00～16:30(開場は14:30)

内容・老荘思想の基本問題—政治思想を中心に  
講師・西山尚志(埼玉大学大学院人文社会科学研究科准教授)

④とき・12/18(日)15:00～16:30(開場は14:30)

内容・境界を生きる現代アメリカのアーミッシュ  
講師・野村奈央(埼玉大学大学院人文社会科学研究科准教授)

ところ・2階講堂

定員・各回60名(当日先着順)

費用・無料

お問い合わせ・埼玉大学総務部広報渉外課「ミュージアム・カレッジ担当」Tel.048-858-9213

その他、出品作家によるアーティスト・トーク等イベントを開催予定です。詳細は、当館ホームページでお知らせします。



左:斎藤豊作《フランス風景Ⅲ》1910年頃 埼玉県立近代美術館蔵



右:駒井哲郎《夢の始まり》1949年 埼玉県立近代美術館蔵

## MOMASコレクション(収蔵品展)

### 2022年度 第2期

とき・9/3(土)～11/27(日)

※ 会期中一部作品の展示替えがあります。  
前期:10/23(日)まで/後期:10/25(火)から

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※ ( )内は20名以上の団体料金  
※ 中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料  
※ 11月14(月)は「県民の日」のため無料

#### ◇セレクション

ピカソほか、MOMASコレクションの名品を展示します。

#### ◇さいぎんのたまもの

野見山暁治や秋岡美帆の作品など、昨年度新たに寄贈された収蔵品を紹介いたします。

#### ◇月を待つ—日本画の夜景

日本画における光の表現に注目し、横山大観や森田恒友など様々な画家の作品を紹介いたします。

※ 本紙記載の展覧会やイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更・中止となる場合があります。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。



クロード・モネ《ジヴェルニーの積みわら、夕日》1888-89年

## アート体感ワークショップ MOMASのとびら

全プログラム事前予約制です。  
当館ホームページからお申込みください。

### 《11月のプログラム》

11月分のお申込みを10/1(土)から受け付けます。

#### ○みる+つくる

とき・11/5(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生 費用・無料

#### ○もますまつり

とき・11/14(月) 10:30～12:00/14:00～15:30

対象・どなたでも 費用・無料

※ 県民の日に行うフリープログラムの拡大版です。いくつかのプログラムを時間制で数回ずつ実施する予定です。

#### ○み+つけ

とき・11/19(土) 13:30～15:00

対象・未就学児(4～6歳)+保護者 費用・無料

### 《12月のプログラム》

12月分のお申込みを11/1(火)から受け付けます。

#### ○み+つけ

とき・12/3(土) 13:30～15:00

対象・未就学児(4～6歳)+保護者 費用・無料

#### ○みる+つくる

とき・12/10(土)、12/17(土) 各13:30～15:00

対象・小・中学生 費用・無料

※ 開催日が複数あるプログラムは、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みいただいても構いませんが、ご参加いただくのはそのうち1日のみとさせていただきます。また、応募が定員以上の場合は、抽選とさせていただきます。ご了承ください。

※ 「みる+つくる」は、MOMASコレクションまたは企画展のどちらかに関連した活動を行います。

※ 各プログラムの実施時間等は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

「MOMASのとびら」のページ

<https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら>



## 一般展示室(地階)

※ 日程・内容は変更される場合があります。当館ホームページで最新内容をお知らせしています。

※ 展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

### ◆10/4(火)～10/9(日)

第55回第一美術協会埼玉支部展……………一般展示室1  
第55回埼玉三軌展……………一般展示室2・3  
第36回溪水会展……………一般展示室4

### ◆10/11(火)～10/16(日)

第18回水彩連盟埼玉西支部展……………一般展示室1  
美術協会純展 埼玉支部展第22回展……………一般展示室2  
第37回アート現宇展……………一般展示室3  
2022椽の会……………一般展示室4

### ◆10/18(火)～10/23(日)

公募ZEN展……………一般展示室1  
第23回地平展……………一般展示室2  
截金工芸展(町田築泉)……………一般展示室3  
全日写連浦和支部写真展……………一般展示室4

### ◆10/25(火)～10/30(日)

第43回太平洋埼玉展……………一般展示室1  
悠友展……………一般展示室2・3  
むさしの木彫会 第三回展祈りのかたち 仏像彫刻展……………一般展示室4

### ◆11/1(火)～11/13(日)

2022CAFネビュラ展……………一般展示室1～4

### ◆11/15(火)～11/20(日)

第61回埼玉県高等学校書道展……………一般展示室1～4

### ◆11/22(火)～11/27(日)

第65回埼玉県高校美術展……………一般展示室1～4

### ◆11/29(火)～12/4(日)

Sound Collection ～音を感じる写真展～……………一般展示室4

## 美術館のこれまでとこれから 女性学芸員の視点から

学芸員は女性の比率が高い職業ですが、そうでなかった時代もありました。美術館開設準備室(昭和56年設置)から勤務している大越久子学芸員と3年目の佐伯綾希学芸員が、職場環境や美術館の今後について語ります。

**大越** 開館当初の女性学芸員は4名。これは学芸員の約3分の1で、当時としては女性比率の高い職場でした。私にとっては当たり前のことだったけれど、他館では女性が1人だけというケースも。いじめられたという話も聞きました。女性学芸員は全国的に少なく、中でも子供のいる人は希少でした。少し下の世代からは仕事と子育てを両立させることも一般的になりましたが、育休は短めが多い印象です。それだけ仕事が面白いのかも。

**佐伯** 人が入れ替わって男性学芸員がほとんどになった時期もあったようですが、私が入った令和2年度には女性が圧倒的に多くなっていました。ここ数年で一気に世代交代が進みました。職場環境に変化はありましたか。

**大越** 当館には自主性を尊重する風土があって、昔から決して働きにくくはなかったと思います。ただ、収蔵品のデータ管理など特定の業務が「女性向き」とされたり、論理的でない展示をすると「女性が考えそうなこと」と言われたり、といったことはありました。昇進の道も限られていました。明確に差別があったと感じます。男性を優先して昇進させると面と向かって言われたこともある。今は制度がより公平になり、実力主義になって、能力を発揮しやすい環境になったのではないかしら。文化庁が女性館長の登用を推奨する通知を出しましたが、全国的に女性の学芸員の方が多くなった今、館長クラスにも女性が増えていくでしょうね。

**佐伯** 美術業界自体のジェンダーバランスが偏っているという指摘もあります(※1)。美術館で収蔵されている作家や個展を開催する作家は男性が多いですね。作家や作品の評価基準も、男性中心の構造の中で作られたもの。そこからこぼれ落ちてしまった女性作家を紹介することも大切だと思っています。学芸員として仕事をしていると、この立場には否応なしにある種の権力が発生すること、その権力には大きな責任が伴うことを感じるんです。自分の一言が作家のキャリアや作品の評価を左右するわけですから。

**大越** 自分を見誤らずにいられば、その自覚は美術館や美術業界を変えていく源泉になりえますね。自分の仕事内容にジェンダーの感覚が軸として入っている世代が美術館に入ってきていることは、いまだかつて当館にはなかった状況です。MOMASコレクションで男性像をテーマに据えたことは画期的でしたよね(※2)。今、コレクション展示にとっても活気があるでしょう。作品の組み合わせだとか、配置のリズムだとか、感覚的に何かが違う。これまでとは全然違う展示を、若い人たちが自分の力でできるようになってきたのがここ数年です。世の中の動きに押されて美術館もどんどん変わっていきませんが、未来は明るいですよ。

**佐伯** コレクションの活用はこれから増えるでしょうから、新鮮さを失わないようにしたいですね。当館は学芸員が意見を出しやすい環境だと思うので、過去に捉われず、これからの美術館に必要なことをゼロから考えながら、よりよい美術館を作っていきたいです。

※1 表現の現場調査団「ジェンダーバランス調査結果」

<https://www.hyogen-genba.com/gender>

※2 2020年度MOMASコレクション第2期(2020年7月18日～10月18日)セレクション

## ミュージアム・ショップおすすめ商品

ハンカチをご紹介します。一枚のストライプ柄をランダムに折りたたんだデザインなのですが、折り目に影が入っていて、立体と錯覚する不思議なハンカチです。その他ぎった紙片を集めたデザイン、丸やハート型を集めたブーケ柄など全3タイプ。

ありきたりにはもう飽きたという方にぴったりです。1枚ずつパッケージに入っています。



サイズ:50cm×50cm  
素材:綿100%  
価格:1,650円(税込)  
Produced by D-BROS

埼玉県立近代美術館  
The Museum of Modern Art, Saitama

所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1  
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp  
URL・<https://pref.spec.ed.jp/momas/>  
開館時間・10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)  
休館日・月曜日(10/10、11/14は開館) 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。  
※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。

